

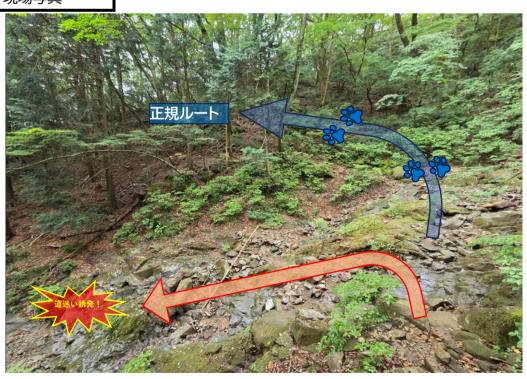
天城シャクナゲコース危険箇所シート		
危険場所	S-8【迷い口(1)】	
危険事象	道迷い滑落事故・その他	

誘発理由

シャクナゲコース「S-8」では、ルート上に沢があり、その窪みが登山道と誤認されやすい状況となっている。そのため、当該箇所では沢方向へ誤って進入するケースが多く、道迷いの原因となっている。

危険箇所地図





天城シャクナゲコース危険箇所シート	
危険場所	S-9~S-10付近【迷い口(2)】
危険事象	道迷い・滑落事故・その他

誘発理由 シャクナゲコース「S-9~S-10」付近では、本線以外の踏み跡や複雑に折れ曲がったつづら折りの道が交 錯しており、周囲の地形が登山道と誤認されやすい状況となっている。そのため、登山者がシャクナゲ コースのルートから外れ、谷方向へ進入してしまうケースが多く、道迷いを引き起こす要因となってい る。

危険箇所地図 S-15-5 S-14 .1168 天城橋 涸沢分岐点 迷い口(Z) S-13 場写真の撮影方向



天城シャクナゲコース危険箇所シート	
危険場所	S-14付近【滑落危険箇所(1)】
危険事象	道迷し、滑落事故。その他

誘発理由

ッポーロ シャクナゲコース「S-14」付近におけるルート上の谷側は、急傾斜と急こう配の斜面が連続しており、登山 道も狭隘である。また、一部にはガレ場を横切る箇所も確認され、鋭利な岩場や滑りやすい苔が混在してい る。当該箇所においては転倒に伴う滑落の危険性が高く、谷側に垂直に下る箇所も認められることから、極 めて危険性の高い区間である。

危険箇所地図





天城シャクナゲコース危険箇所シート	
危険場所	S-14ルート上はしご付近【滑落危険箇所(2)】
危険事象	道迷い、滑落事故、その他

誘発理由 シャクナゲコース「S-14」付近のルート上には木製はしごが設置されており、その谷側は急こう配の斜面 が広がっている。また、登山道は非常に狭く、転倒を誘発し得る滑りやすい木の根や、濡れることにより 著しく滑りやすくなる木製はしごが存在する。このため、側方または中腹への滑落が予測され、極めて危 険性の高い区間である。

危険箇所地図 S-16 S-15-5 滑落危険箇所(2) S-14 .1168 天城橋 涸沢分岐点 現場写真の撮影方向 S=13 S-11=

